

意見公募手続結果概要

(様式2)

令和6年12月25日

担当部課 学校教育部教育総務課

【案件名:四條畷市学校施設整備方針(令和6年12月改訂版)(原案)への意見公募】

令和6年11月14日～12月13日の間、実施いたしました当該案件に係る意見公募手続の結果の概要は、以下のとおりです。

①提出意見の件数

合計 1 名 (提出者の人数)

延べ 1 件 (意見を内容別に集計しています。)

②意見の内容別

(1)施設の複合化に関する意見 1 件

③提出意見に対する市の考え方

意見の概要	意見に対する考え方
2050年少子超高齢化社会を迎えるにあたり、パーソンセンタードケア(高齢者囲む)町づくりの提案 少子超高齢化社会となっていく、2050 年に向けて、子どもと高齢者を結び付け、互いに役に立ち合う社会の構築をめざし、教育の場としての学校から、社会の中心の場となる学校の形を提案します。 ・小中学校の1階を高齢者住宅にする。(廃校も活用する。) 子どもの集まる場所に高齢者を置き、自然と接する環境を作る。子どもからは活気を、高齢者からは知恵の伝承を互いに与え合う。古い	学校施設については、文部科学省が策定している学校施設整備指針において、地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設整備が求められており、児童生徒の学習と生活に支障のないことを前提に、老人福祉施設を含む他の公共施設との複合化が施設を整備する際の観点の一つとして謳われています。 本方針においても、「災害時の避難所機能と地域コミュニティの核としての共創空間の創出」をめざすべき姿の一つとしていることから、今回いただいたご意見につきましては、今後の学校施設を整備す

ものと新しいものが混じり合うことで生まれる新しい社会ができる。子どもを社会で育て、高齢者を社会でサポートする。 ・2階以上を教室にし、登下校時には1階の住宅部分を通過するように設計する。(朝夕の挨拶運動) ・多目的室を設け、カルチャースクール等で活用する。 ・地域包括センター、社会福祉協議会も併設し、職員が見守りを兼務する。 ・シルバー人材センターを併設し、住民は仕事の請負も可能とする。 ・各職員、教員も住宅の通路を活用し、見守り意識をもって出勤する。 ・給食を活用し、配食サービスを行う。 ・大災害の際、高齢者の避難が軽減される。 ・プール部分を浴場に変える。	る際の参考とさせていただきます。
---	-------------------------